



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 ラピーヌ

上場取引所 東

コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青井 康弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 尾崎 史照

TEL 06-6358-2256

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	4,744	0.4	12		36		40	
29年2月期第2四半期	4,766	6.9	327		331		508	

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 27百万円 (%) 29年2月期第2四半期 502百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	17.42	17.18
29年2月期第2四半期	219.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	9,094	5,357	58.6
29年2月期	9,127	5,329	58.1

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 5,328百万円 29年2月期 5,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.6	200		220		200		86.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	2,767,064 株	29年2月期	2,767,064 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	440,554 株	29年2月期	443,121 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	2,324,781 株	29年2月期2Q	2,319,696 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、1株当たり情報の端数処理方法につきましては、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて、切捨てとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益向上や雇用環境改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、他方、欧米や東アジアの経済不確実性が国内に影響を及ぼす懸念材料として残るなど、景気の先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループが属するアパレル業界におきましては、当社主力販路の百貨店において、インバウンド需要を始め、宝飾品など高額商材、服飾雑貨が牽引して底打ち感があるものの、婦人衣料の回復に遅れが見られるなど、全般として消費者の節約意識は依然根強く、個人消費は引き続き力強さに欠ける状況が続いており、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「NL2020」に掲げる「ブランド力を磨く」と「ショップビジネスを伸ばす」を重点目標に、主力である卸売事業の安定した収益基盤確立のために採算を重視した主力販売先との取引拡充、商品企画・生産管理の改善に努めるとともに、小売事業の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億44百万円（前年同期比0.4%減）となりましたものの、損益面におきましては、売上総利益率の回復と販売費及び一般管理費の低減により、営業利益は12百万円（前年同期は3億27百万円の損失）、経常利益は36百万円（前年同期は3億31百万円の損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期は5億8百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<卸売事業>

ブランド毎の特長を活かした企画・販売一体の積極的な営業活動を行い、有力お得意先との取組み強化や効果的な販売促進策の実施などに取り組むとともに、継続して不採算取引の見直しを図るなど、業績確保に努めてまいりました。

当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は33億94百万円（前年同期比4.7%減）となりましたが、営業利益は43百万円（前年同期は1億71百万円の損失）となりました。

<小売事業>

当社子会社の株式会社ベルラピカが運営する婦人服・服飾雑貨小売店「ベルミラン」、セレクトショップ「スクラップブック」、「ラグライア」、当社が運営する直輸入レザーコレクションの「m0851」それぞれのブランド特性や商圈、立地、客層に合致するショップ運営、商品品揃え、販売促進などにより、既存店の売上拡大に取り組むとともに、当第2四半期連結会計期間において直営小売店「ベルミラン」4店を出店し、同期間末の運営店舗数は当社グループ合計で53店となりました。

当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は13億42百万円（前年同期比12.3%増）となりましたものの、当第2四半期後半の天候不順の影響から売上高が伸び悩み、新規出店店舗のイニシャルコストなどの先行を含め、営業損益は12百万円の損失（前年同期は1億34百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて33百万円減少し、90億94百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加79百万円があった反面、現金及び預金の減少92百万円があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、37億37百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加4億円があった反面、長期借入金の減少3億43百万円があったことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて27百万円増加し、53億57百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が53百万円となりましたが、たな卸資産の増加86百万円、仕入債務の減少33百万円等により、1億44百万円の支出（前年同期は3億47百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出39百万円等がありましたが、有形固定資産の売却による収入31百万円、差入保証金の返還15百万円等により、0.3百万円の収入（前年同期は17百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済3億43百万円等がありましたが、短期借入の実行4億円等により、52百万円の収入（前年同期は35百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて92百万円減少して、7億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、平成29年4月10日に公表いたしました予想数値から変更しております。当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異と併せ、本日公表の「平成30年2月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の連結業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の企業を取り巻く様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,803	755,299
受取手形及び売掛金	1,039,763	1,023,191
商品及び製品	1,552,400	1,632,000
仕掛品	278,366	290,584
原材料及び貯蔵品	42,343	36,552
その他	163,891	166,072
貸倒引当金	△1,382	△1,354
流動資産合計	3,923,186	3,902,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,022,878	999,540
機械装置及び運搬具（純額）	10,773	25,178
土地	3,180,659	3,180,332
建設仮勘定	1,701	—
その他（純額）	81,759	71,173
有形固定資産合計	4,297,771	4,276,224
無形固定資産		
その他	19,063	19,766
無形固定資産合計	19,063	19,766
投資その他の資産		
投資有価証券	256,757	252,021
差入保証金	580,649	589,595
その他	85,595	90,007
貸倒引当金	△35,063	△35,258
投資その他の資産合計	887,939	896,367
固定資産合計	5,204,774	5,192,358
資産合計	9,127,961	9,094,705

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	536,522	472,505
電子記録債務	208,009	238,483
短期借入金	1,050,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	590,384	415,384
未払金	476,411	372,195
未払費用	36,847	31,173
未払法人税等	41,590	33,022
返品調整引当金	40,100	51,600
ポイント引当金	40,740	41,172
その他	37,742	74,242
流動負債合計	3,058,350	3,179,780
固定負債		
長期借入金	406,038	237,096
退職給付に係る負債	151,124	129,459
資産除去債務	56,254	64,744
その他	126,647	126,515
固定負債合計	740,063	557,815
負債合計	3,798,413	3,737,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,019,250	1,315,637
利益剰余金	△695,635	47,394
自己株式	△539,816	△536,595
株主資本合計	5,137,819	5,180,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,910	102,994
繰延ヘッジ損益	—	△94
退職給付に係る調整累計額	49,199	45,448
その他の包括利益累計額合計	161,109	148,348
新株予約権	30,618	28,303
純資産合計	5,329,547	5,357,109
負債純資産合計	9,127,961	9,094,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	4,766,404	4,744,980
売上原価	2,715,535	2,493,908
売上総利益	2,050,868	2,251,072
販売費及び一般管理費	2,378,650	2,238,375
営業利益又は営業損失(△)	△327,782	12,696
営業外収益		
受取利息	840	44
受取配当金	2,691	2,734
為替差益	—	3,476
助成金収入	11,642	11,298
生命保険配当金	10,859	10,110
その他	13,401	9,935
営業外収益合計	39,435	37,599
営業外費用		
支払利息	11,699	11,194
支払手数料	4,976	2,644
為替差損	25,749	—
その他	643	439
営業外費用合計	43,069	14,278
経常利益又は経常損失(△)	△331,417	36,017
特別利益		
固定資産売却益	—	25,784
特別利益合計	—	25,784
特別損失		
固定資産除売却損	4,041	4,132
減損損失	20,515	4,439
事業所閉鎖損失	28,221	—
特別損失合計	52,778	8,572
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△384,195	53,229
法人税、住民税及び事業税	12,885	10,311
法人税等調整額	111,206	2,407
法人税等合計	124,091	12,719
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△508,286	40,510
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△508,286	40,510

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△508,286	40,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,827	△8,915
繰延ヘッジ損益	△664	△94
退職給付に係る調整額	△2,452	△3,751
その他の包括利益合計	5,710	△12,761
四半期包括利益	△502,576	27,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△502,576	27,748
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△384,195	53,229
減価償却費	65,196	56,135
減損損失	20,515	4,439
固定資産除売却損益(△は益)	4,041	△21,652
事業所閉鎖損失	28,221	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,943	167
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△400	11,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32,772	△27,067
ポイント引当金の増減額(△は減少)	5,465	432
受取利息及び受取配当金	△3,532	△2,778
支払利息	11,699	11,194
売上債権の増減額(△は増加)	165,948	16,571
たな卸資産の増減額(△は増加)	△143,046	△86,026
仕入債務の増減額(△は減少)	5,602	△33,543
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,887	39,830
その他	△42,828	△76,732
小計	△322,914	△54,299
利息及び配当金の受取額	3,532	2,778
利息の支払額	△12,504	△11,675
退職加算金の支払額	—	△55,529
法人税等の支払額	△15,349	△26,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	△347,235	△144,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,023	△39,742
有形固定資産の売却による収入	—	31,062
無形固定資産の取得による支出	—	△2,070
投資有価証券の取得による支出	△2,709	△2,747
差入保証金の増減額(△は増加)	48,883	15,743
その他	△3,729	△1,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,421	393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	400,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△335,942	△343,942
自己株式の取得による支出	△48	△189
配当金の支払額	△46,435	△677
その他	△3,062	△3,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,488	52,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△365,302	△92,503
現金及び現金同等物の期首残高	1,204,540	847,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	839,238	755,299

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月26日開催の第69回定時株主総会において、次のとおり資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決され、平成29年7月10日に効力が発生しております。なお、本件は「純資産の部」の振替処分であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行う目的

今後の資本政策の柔軟性の確保と早期復配体制の実現を目的として、資本準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替え、振り替え後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填を行う。

2. 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替える。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 2,002,723千円のうち、2,002,723千円（全額）

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 2,002,723千円

3. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2.による振り替え後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填に充当する。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 702,519千円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 702,519千円

上記の結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が702,519千円減少し、利益剰余金が702,519千円増加しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年3月1日 至平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,563,751	1,195,084	4,758,836	7,567	—	4,766,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,563,751	1,195,084	4,758,836	7,567	—	4,766,404
セグメント損失(△)	△171,349	△134,602	△305,951	△21,830	—	△327,782

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年3月1日 至平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,394,988	1,342,569	4,737,557	7,423	—	4,744,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,394,988	1,342,569	4,737,557	7,423	—	4,744,980
セグメント利益又は損失(△)	43,539	△12,616	30,923	△18,227	—	12,696

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続の営業損失、営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していることを認識しております。

しかしながら、当該事象又は状況を解消、早期の業績回復を実現するため、製造・仕入圧縮、持ち越し在庫削減、不採算ブランド廃止並びに不採算取引の中止など粗利益率改善及び固定費の圧縮による柔軟な損益構造への転換、中長期成長戦略として小売事業の強化等の実行策を策定して取り組んでおり、今後も継続して推進してまいります。

以上により、収益力の回復、経営基盤の強化に努め、また、資金調達についても安定的に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。